

# 海外インターンシップ

グローバルエンジニアを目指して

## 研修事前学習

台湾について	台湾の言葉・文化・歴史・地理
TYKについて	
交流先学校について	
台北市内研修を計画	新幹線、地下鉄、バスの乗り方
海外旅行ガイダンス	飛行機マナー、携帯電話、海外旅行保険

## 研修日程 令和6年12月15日～令和6年12月19日（4泊5日）

12/15(日)	多治見 中部空港 桃園空港 新幹線左栄駅（高雄） シティースイーツ
12/16(月)	(株)TYK高雄工場インターンシップ
12/17(火)	高雄市立中正高級工業職業学校 台湾高校生と交流 新幹線左栄駅 台北駅 サントスホテル
12/18(水)	台湾市内研修
12/19(木)	台湾市内研修 桃園空港 中部空港 多治見

## 参加生徒

2年	セラミック工学科	梶田 あい
2年	産業デザイン工学科	今井 紗矢

# (株)TYK高雄工場インターンシップ



ご指導いただいた皆様



自己紹介





# 台湾工場の説明会



## テストピースの強度測定





# 高雄市立中正高級工業職業高校との交流会



校内にコンビニ!!



生徒4人でランチ交流会





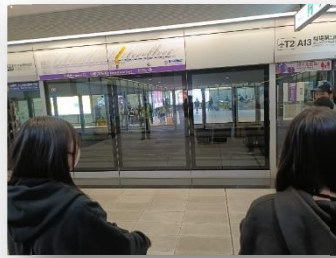
# 事前研修



桃園空港にて  
キャンペーン



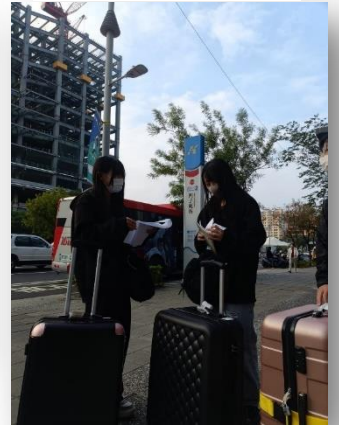
桃園駅から新幹線で高雄へ



高雄 LRT



高雄のホテルへ  
向かいます



高雄での夕食！

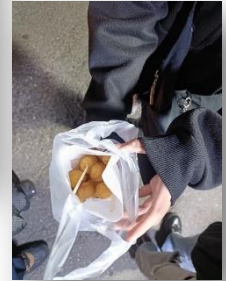


シティスイーツ(城市商旅)





## 旗津(きしん)半島 フェリーで夜市へ



夜市食べ歩き

## 台北市内研修

台湾ソールフード屋台でランチ



## 永康エリア散策

## 油化街散策





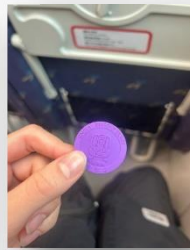
# 九份散策



## 日本に帰国します



サントスホテル  
(三徳大飯店)



多治見駅到着 ただいま



## アンケート

- Q1 インターンシップは自ら希望しましたか。  
a.自分で ②      b.先生から勧められた      c.その他 (      )
- Q2 インターンシップの実習量はどうでしたか。  
a.とても多かった。      b.やや多かった。 ②      c.適当だった。  
d.やや少なかった。      e.とても少なかった。
- Q3 インターンシップの実習内容についてどうでしたか。  
a.適当だった。 ②      b.厳しい内容だった。      c.楽な内容だった。
- Q4 インターンシップの期間はどれぐらいが良いと思いますか。  
a.1日      b.3日      c.5日 ②      d.7日      e. その他 (      日)
- Q5 インターンシップは進路決定の参考になるとおもいますか。  
a.とても参考になる。 ①      b.だいたい参考になる。 ①      c.やや参考になる。  
d.ほとんど参考にならない。
- Q6 インターンシップから、仕事の上で最も大切だと思ったことは何ですか。  
a.時間を守ること      b.あいさつをすること ①  
c.責任をもって仕事をすること      d.人との協調性 ①  
e.その他 (      )

## 交流会アンケート

- Q1 学校交流はどうだったか?    aとてもよかった ②    b普通      cよくなかった
- Q2 会話はできたか                    aできた ②                    bできなかった
- Q3 刺激になったか                    aなった ②                    bならなかった
- Q4 時間はどうだったか                aちょうどよい ①    b短い ①      c長い

## 海外インターンシップを終えて

これまでに台湾に行ったことがなく、言葉が通じるか、交通機関を間違えることなく行けるか、とても不安でした。実際に会話する場面があったときに、ジェスチャーをしたり翻訳アプリを使ったりして頑張って伝えようとする相手も理解しようとしてくれました。話す言語が違ってても諦めるのではなく、伝わるように表現することが大事ということがわかりました。交通機関を利用するときでは、たくさんの乗り場があり迷うことがあったのですが、協力し合い無事に目的地までたどり着くことができました。インターンシップでは、仕事の大変さや必要性、時間を守り見通しのある行動をすることが大切ということ学びました。また、現場で分からないことがあったときは、同僚や上司にたくさん質問することが大事。と教えていただきました。今後の学校生活や社会に出たときに繋げていきたいと思いました。

2年 セラミック工学科 梶田 あい

行く前までは、海外に行くのに少し壁を感じていました。行ける人は、お金持ちで、色々な言語が話せる人に限られる。そう思っていました。私にとって初の海外、初の飛行機と不安や心配が多くありました。しかし、いざ行ってみると考えは変わりました。台湾の人は、とても親切で優しく道に迷っていると目的地まで案内して、キャリアケースを運ぶ手伝いをしてくれました。インターンシップで質問をした際、社会にでて1年目で会社と相性がいいのは、まれだと教えていただきました。自分と会社が合わないからじゃなく、自分から合わせに行くことが大切だと学びました。高雄の高校との交流では、ちゃんと言葉が通じるのか不安を感じていました。しかし翻訳アプリとコミュニケーションをうまく活用することで互いに意思の疎通ができました。自ら伝えようという意思が大切だと感じ、今後の就職や学校生活でこれらを活かしていきたいと思います。

2年 産業デザイン工学科 今井 紗矢